

18日

## まちの若者が交流 あつま新鮮組主催の運動会

町内の農協、商工会、漁協の青年部が組織する連絡協議会あつま新鮮組（上道恵会長）主催の『あつま新鮮組プレゼンツ熱血！運動会2017』が、厚真中央小学校体育館を会場に開催されました。

運動会には町内の団体・事業所等に勤務している人たちや町内在住者など約60人が参加。

参加者は2チームに分かれて同会が考案したオリジナルのゲーム等を通じて楽しく交流しました。



ボールをペットボトルで支えながらゴールを目指す参加者

24日

## つみき園児が生け花に挑戦

こども園つみき（油谷諭園長）で、町内で生け花を教えている（株）小原流苦小牧支部の上田敦子さんを招いて「生け花教室」を行い、年中園児24人が生け花を体験しました。

園児たちは、上田先生から花の名前を教わった後、ガーベラやスイートピーなどの花を思い思いに生けていました。園児らは「きれい！」「上手にできた！」と喜びの笑顔を見せていました。



1本1丁寧に花を生ける園児たち

27日

## 中谷幸保さん（豊沢）に 自衛隊から感謝状が贈呈

道央自衛隊家族会厚真支部長の中谷幸保さん（76歳）が自衛隊から感謝状が贈呈され、2月27日に役場を訪れ、町長へ受賞報告を行いました。

中谷さんは、平成24年から自衛隊家族会厚真支部長として、町民と自衛隊の相互理解の促進および防衛意識の普及高揚に尽力されました。



町長に受賞の報告をした中谷さん(右)

28日

## 苫小牧警察署から 厚真町交通安全推進委員会に感謝状

厚真町交通安全推進委員会（宮坂尚市朗会長）が交通安全の取り組みに対し北海道札幌方面苫小牧警察署から感謝状が贈呈されました。

同会は、交通事故防止の抑止と安全な交通社会の実現に向け積極的かつ熱心な交通安全活動に取り組み、交通事故の減少と交通安全の推進に貢献しました。



感謝状を受け取る宮坂会長(右)

4日

## 自己新記録を目指して滑走 町スケート記録会

第37回町小中学校スピードスケート記録会が町民スケートリンクで行われ、町内の小・中学校から72人の選手が参加しました。

当日は厳しい寒さの下、白熱したレースが繰り広げられ、観覧の保護者らから熱のこもった大きな声援が送られていました。

選手たちは、保護者や先生、友だちから大きな声援を受け、新記録や自己ベストを目指して力いっぱい滑走していました。



バトンをつなぐため全力で滑走

9日

## こども園つみきでサッカー教室

こども園つみきの年長園児を対象に、Y A G E Nフットボールクラブ（石塚東洋雄会長）によるサッカー教室が厚真児童会館で開催されました。

この日は、石塚さんの駒澤大学附属苫小牧高校教員時代の教え子となる黒澤翔太さんと溝口慎也さんがコーチとして来園。園児14人は、ボールを使った体操やドリブル・シュートなどの基礎を習った後、3チームに分かれて試合を実施。歓声をあげながら、夢中になってボールを追いかけっていました。



ゴールに向かってシュート！

10日

## 上小6年生と宮の森こども園児が交流

上厚真小学校（西田直校長）の6年生12人が総合的な学習の時間で、宮の森こども園（安倍英志園長）の園児と交流しました。これは園児との交流を通し、地域福祉について理解を深めるもの。

児童らは、事前に考えたクイズや宝探しゲームなどの企画を用意し、楽しく遊びながら学習を進めていました。「予想以上に楽しんでくれたようで嬉しかった」と児童たちは笑顔で話していました。



なぞなぞクイズを園児に出題

17日

## 札幌大学の学生8人が田学連携で インターンシップ

田舎と大学が連携し地域活性化を目指す「田学連携事業」の一環として2月6日から3月3日まで、札幌大学の学生計8人がインターンシップ（職業体験）を行いました。学生らは3期に分かれ、それぞれ「考古歴史文化財」、「グリーンツーリズム」、「図書館司書」、「特産品活用」の4分野について体験。広報資料作成や企画・提案を行い、参加した学生は「実際に業務を体験し、よりその道に進みたいという思いが強まった」「インターンシップ以外の取り組みでも厚真町と関わっていききたい」と感想を話していました。



企画案をプレゼンテーションする学生ら